ISO 9001
ISO 14001
JQA-2631(本社工場)
JQA-EM3548(本社工場)

弱溶剤２液型シリコン樹脂 塗料

屋根用

ルーフマイルドSi

ROOF MILD Si

塗シン希釈OK!

ミズタニ

弱溶剤2液型シリコン樹脂 塗料

屋根用

ルーフマイルドSi

弱溶剤ポリウレタン樹脂のルーフマイルドUをベースとしてシリコン樹脂のシロキサン結合を付加させた、新しいコンセプトの屋根用塗料です。ポリウレタン樹脂結合力をシリコン樹脂がタイトにサポートし、優れた耐候性、耐久性を有します。また弱溶剤タイプで環境に優しく、臭いもマイルドです。

用途

■ 窯業系屋根材

住宅屋根用化粧スレート、波形スレート、プレスセメントがわら

乾式洋瓦（モニエル瓦・スカンジア瓦・パラマウント瓦）

〈注　意〉
いぶし瓦への塗装は避けてください。
乾式洋瓦（モニエル瓦・スカンジア瓦・パラマウント瓦）を塗装される場合は必ずエポックマイルドシーラーのカタログをご参照ください。

■ 金属系屋根材

カラー鋼板（塗装溶融亜鉛メッキ鋼板、カラーアルミニウム板、塗装ガルバリウム鋼板）、表面未加工のアルミニウム板、表面未加工のアルミ合金メッキ鋼板（ガルバリウム鋼板）

※鋼板、フッ素鋼板、塩化ビニル鋼板、一般鉄部については別途屋根用塗料施工マニュアルをご参照ください。

特長

低　汚　染　性 | 高　耐　候　性 | 高　　光　　沢

耐アルカリ性 | 防カビ・防藻性

2液型ポリウレタン樹脂の結合力とシロキサン結合が、汚れにくく耐久性のよい塗膜を形成し、優れた低汚染性、高耐候性、耐アルカリ性を発揮します。また水溶性成分を含んでいませんので優れた防カビ・防藻性を発揮します。

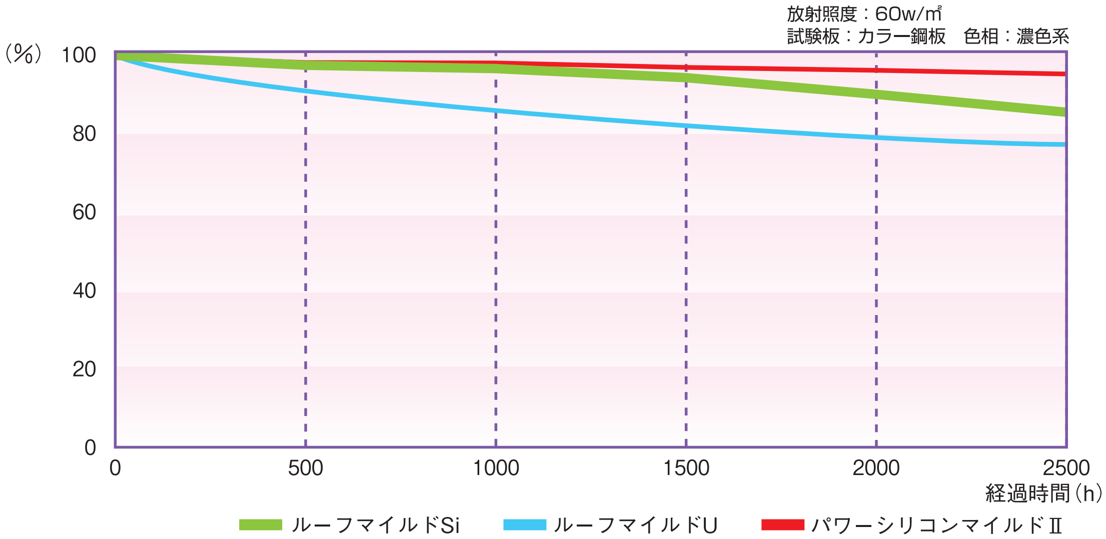
幅広い素材に適応 | 塗り替えに最適 | 優れた作業性

塗シン希釈OK!

金属系屋根材、窯業系屋根材ともに適合します。弱溶剤系なので新築はもとより、フタル酸系、油性系やアクリル系等の旧塗膜にも塗装可能です。強溶剤系塗料に比べ臭気が少なく、作業環境や塗装作業性に優れています。

優れた耐候性

■ 光沢保持率（キセノンウェザーメーター）



適合素材と塗装工程

窯業系屋根材

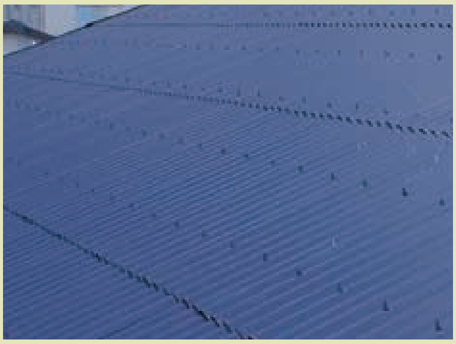
注）いぶし瓦への塗装は避けてください。

住宅屋根用化粧スレート

住宅屋根用化粧スレート塗装工程

- ルーフマイルドSi
- エポックマイルドシーラー
  マイルド浸透シーラー
- 基材（住宅屋根用化粧スレート）

ノンアスベスト波形スレート



ノンアスベスト波形スレートの塗装工程

- ルーフマイルドSi
- エポックマイルドシーラー
- 基材（ノンアスベスト波形スレート）

乾 式 洋 瓦

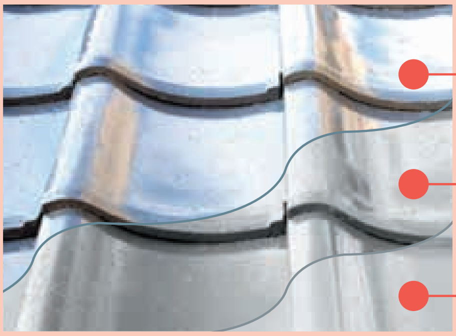
乾式洋瓦の塗装工程

- ルーフマイルドSi
- エポックマイルドシーラー
- 基材（乾式洋瓦）

※施工には留意点が多いため、必ずエポックマイルドシーラー、カタログをご参照ください。

プレスセメントがわら

プレスセメントがわらの塗装工程



- ルーフマイルドSi
- RMプライマー
  弱溶剤系 銀黒用 下塗 グレー※
  ※上塗りがメタリック色の場合
- 基材（プレスセメントがわら）

住宅屋根用化粧スレートの塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2)[注1]	0.1～0.15	100～150	5h以内	——	2h以上 3日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5～20%(RMシンナー) 20～30%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

注1 15年経過した基材等、基材表面の劣化が進み脆弱になっている場合は マイルド浸透シーラーを2回塗りしてください
※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

劣化が著しい住宅屋根用化粧スレート及びスレート系屋根材の下塗り材

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2)[注2]	0.1～0.15	73～110	8h以内	—— (4h以上)	5h以上 7日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5～20%(RMシンナー) 20～30%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

注2 20年以上経過した基材等、基材表面が劣化し特に脆弱になっている場合は、エポックマイルドシーラーを2回塗りしてください。
※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合はルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

乾式洋瓦の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、剥離塗膜、脆弱なスラリー層等をデッキブラシ、ワイヤーブラシ、皮スキ等を用い、手作業で除去する。 最後に高圧洗浄(吐出圧力12MPa{120kgf/cm^2}程度)で完全に清浄な被塗面にする。 脆弱なスラリー層が残った場合は、シーラーの付着不良を起こす可能性がありますので完全に取り除く。									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー	1(～2)[注3]	0.15～0.20	55～73 (28～37)	8h以内	——	5h以上 7日以内	——
確認	シーラー塗装後、ガムテープ等で付着性を必ず確認してください。 1,テープに着色スラリー層が付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。 2,テープに旧塗膜が付着する場合は、塗膜の膨れ、剥離、およびリフティングが発生する場合があります。 再度ケレン作業を行い付着不良の旧塗膜を除去後、再度シーラー塗装してください。									
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5～20%(RMシンナー) 20～30%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

注3 基材表面が著しく劣化している箇所はエポックマイルドシーラーを2回塗りしてください。
※冬季はエポックマイルドシーラーの乾燥が遅れます。塗料溜まりが出来ないよう2回以上に分けて塗装し、上塗りは翌日以降にシーラーの乾燥を確認後、行ってください。
※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合はルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

■ エナメル色の塗装仕様

プレスセメントがわらの塗装仕様-1

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	RMプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	5～15%(RMシンナー) 15～25%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	1	0.11～0.15 0.15～0.17	100～136 88～100	3h以内	——	4h以上 10日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5～20%(RMシンナー) 20～30%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

※旧塗膜がほとんど残っていない場合は、下塗りにマイルド浸透シーラーをご使用ください。
※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合はルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

■ メタリック色の塗装仕様

プレスセメントがわらの塗装仕様-2

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	弱溶剤系 銀黒用 下塗 グレー 主剤 14kg 硬化剤 2kg	20～30%(RMシンナー)	エアレス	1	0.16～0.18	89～100	4h以内	——	4h以上 10日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi メタリック色 主剤 14kg 硬化剤 2kg	20～30%(RMシンナー)	エアレス	2	0.1～0.11	73～80	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

※基材の劣化状況に応じて次の下地調整材を使用してください。セラフィックス、水系ルーファーEX、水系Eプライマー(詳細は下地調整材の単独カタログをご参照ください。)
※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合はルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

陶器瓦の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	陶器瓦用プライマー 主剤 16kg 硬化剤 2kg	5～10%(RMシンナー) 15～25%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	1	0.14～0.16 0.21～0.23	113～129 78～86	4h以内	——	16h以上 10日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5～20%(RMシンナー) 20～30%(RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.15 0.13～0.16	53～67 50～62	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合はルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。

適合素材と塗装工程

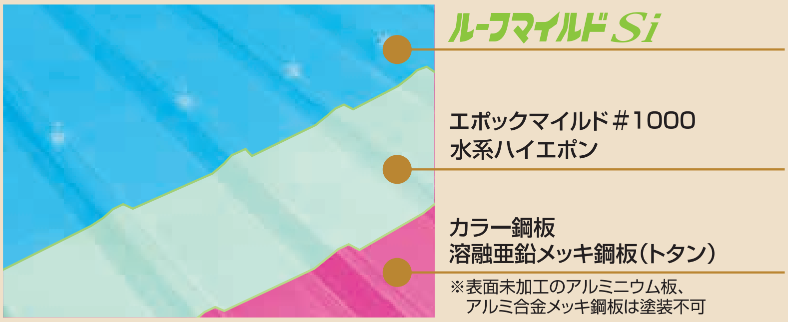
金属系屋根材

金 属 系 屋 根 材

金属系屋根材の塗装工程

さびが発生していない場合

さびが発生している場合



※表面未加工のアルミニウム板、
アルミ合金メッキ鋼板は塗装不可

塗膜性能

■ 塗膜性能（窯業系）

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K 5600（60度）	78±2
耐おもり落下性	JIS K 5600 落球式 おもりWZ-500×30cm	異常なし
付着性	JIS K 5600（クロスカット法 2mm幅）	分類 0
耐液体性	JIS K 5600（水道水 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600（水酸化ナトリウム5% 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600（硫酸5% 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
耐湿潤冷熱繰り返し性	JIS K 5600 23℃×18h浸せき/−20℃×3h/50℃×3h	10サイクル 異常なし
凍結融解繰り返し性	−20℃×16h浸せき/20℃×8h浸せき	10サイクル 異常なし

試験板：スレート板　乾燥条件：23℃×7日間放置

■ 塗膜性能（金属系）

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K 5600（60度）	85±2
耐おもり落下性	JIS K 5600（デュポン式 500g×30cm×1/2Φ）	異常なし
付着性	JIS K 5600（クロスカット法 1mm幅）	分類 0
耐液体性	JIS K 5600（水道水 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600（水酸化ナトリウム5% 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600（硫酸5% 浸せき法）23℃×7日間	異常なし
耐屈曲性	JIS K 5600（円筒形マンドレル法）	2mm
引っかき硬度	JIS K 5600（鉛筆すり傷法）	F〜H
耐中性塩水噴霧性※	JIS K 5600ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
塗膜劣化の評価（さびの等級）※	JIS K 5600沖縄県曝露場 24ヶ月	Ri 1（さびの面積0.05%）
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験板：冷間圧延鋼板（鉄板）　乾燥条件：23℃×7日間放置
※下塗り材として、RMプライマーを塗付しています。

金属系屋根材の塗装仕様

■ カラー鋼板全般・表面未加工のアルミニウム板・表面未加工のアルミ合金メッキ鋼板の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃) 工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	RMプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	5~15%(RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15	100~136	3h以内	——	4h以上 10日以内	——
		15~25%(RMシンナー)	エアレス		0.15~0.17	88~100				
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5~20%(RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.1~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上
		20~30%(RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。※発泡した場合は、ルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。
※新設および旧塗膜の状態が良い場合は、直接ルーフマイルドSiを塗装することも可能です。

■ カラー鋼板・溶融亜鉛メッキ鋼板(トタン)でさびが発生している場合の塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃) 工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	エポックマイルド#1000 15kg	15~20%(RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.14~0.16	94~107	——	——	4h以上	——
		25~30%(RMシンナー)	エアレス		0.15~0.17	88~100				
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 2kg	5~20%(RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.1~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上
		20~30%(RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。※発泡した場合は、ルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。
※塗料希釈は塗料用シンナーAの種類によって適合しないものがあります。その場合は、RMシンナーをご使用ください。 ※さびが著しい場合は、エポックマイルド#2000が必要な仕様となります。

■ 塗り替え(旧塗膜が水系、もしくは耐溶剤性が悪い場合)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃) 工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	水系ハイエポン 主剤9kg 硬化剤6kg	5~7%(希釈水)	ハケ・ローラー	1	0.16~0.18	83~94	4h以内	——	16h以上 7日以内	——
上塗り	ルーフマイルドSi 主剤 14kg 硬化剤 1kg	5~20%(RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.1~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	——	16h以上

※塗付量に希釈剤は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
※発泡した場合は、ルーフマイルド用ローラー調整剤を主剤1缶に対して100cc添加してください。

乾燥時間と可使時間

気温	乾燥時間 指触乾燥	乾燥時間 半硬化	可使時間
5℃	50分	6h	7h以内
10℃	30分	4h	6h以内
20℃	15分	3h	4h以内
30℃	10分	2h	3h以内

※乾燥時間は施工時の環境(通風等)、RMシンナーの希釈割合により変わります。 可使時間は施工時の気温、保管状態、RMシンナー希釈割合により変わります。

荷 姿

ルーフマイルドSi	16kgセット(主剤 14kg 硬化剤 2kg)※色は屋根用塗料マイルドシリーズカラーカードでご確認ください。
弱溶剤系 銀黒用 下塗 グレー	16kgセット(主剤 14kg 硬化剤 2kg)
マイルド浸透シーラー	15kgセット(主剤 14kg 硬化剤 1kg)
RMプライマー	15kgセット(主剤 14kg 硬化剤 1kg) 常備色3色 グレー(日塗工 N-55程度)、赤さび(日塗工 09-40L程度)、白
陶器瓦用プライマー	18kgセット(主剤 16kg 硬化剤 2kg) 常備色2色 グレー(日塗工 N-70程度)、ブラウン(日塗工 09-40L程度)
エポックマイルドシーラー	11kgセット(主剤 10kg 硬化剤 1kg)
エポックマイルド#1000	15kg 4kg 常備色4色 グレー(日塗工 N-70程度)、ブラウン(日塗工 09-40L程度)、クリーム(日塗工 25-90B程度)、黒(日塗工 N-25程度)
水系ハイエポン	15kgセット(主剤 9kg 硬化剤 6kg) 5kgセット (主剤 3kg 硬化剤2kg)
RMシンナー	16L 4L ※シンナーはA(春秋型)、S(夏型)、W(冬型)、W速乾用があります。
ルーフマイルド用ローラー調整剤	4L 1L

注意事項

仕様全般

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
3. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
4. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
5. 金属屋根のはぜ部分など、構造上膜厚がつきにくい部分は、さびが生じやすいため、拾い塗りなどでしっかりと塗装してください。
6. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
7. 塗料は内容物が均一になるように撹拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起こりますのでご注意ください。
8. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
9. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
11. 水切り部(基材の小口間)が塗料でふさがっている箇所は皮すき等で縁切りを行ってください。(基材と基材の間に隙間がないと、結露や雨水の逆流により、雨漏りや敷板が腐る恐れがあります。)
12. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
13. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
14. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
15. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
16. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
17. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分撹拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分撹拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
6. ローラー塗装時に巻き込み泡が発生した場合は、「ルーフマイルド用ローラー調整剤」を主剤1缶に対して100cc(ml)添加してください。
7. 旧塗膜がある場合は、2液型塗料は溶剤などの影響により膨れやちぢみ等の塗膜異状が発生する可能性があります。試し塗りにより確認の上、塗装してください。
8. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもあります。
9. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
10. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
11. 2液型塗料は、硬化が不充分な場合にRMシンナーで再溶解する場合があります。
12. 小分けする場合は、充分撹拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
13. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
14. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
15. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

MIZTANI

水谷ペイント株式会社

本社	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
大阪支店	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
西日本開発部	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
東京支店	〒101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東日本開発部	〒101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
北関東支店	〒348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎(048)563-0355 FAX(048)563-5124
中部支店	〒486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
広島支店	〒734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎(082)284-6556 FAX(082)283-0017
福岡支店	〒811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎(092)611-5731 FAX(092)621-2301
仙台営業所	〒984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎(022)782-6770 FAX(022)232-6871
札幌営業所	〒003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎(011)824-5711 FAX(011)824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室　塗料に関するご質問、お問い合わせは…

☎06-6391-3039

営業時間：午前 9:00〜12:00　午後 1:00〜3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

再生紙に大豆油インキを使用しています。 PRINTED WITH SOY INK

2108050304716